

米国横断はシアトルから

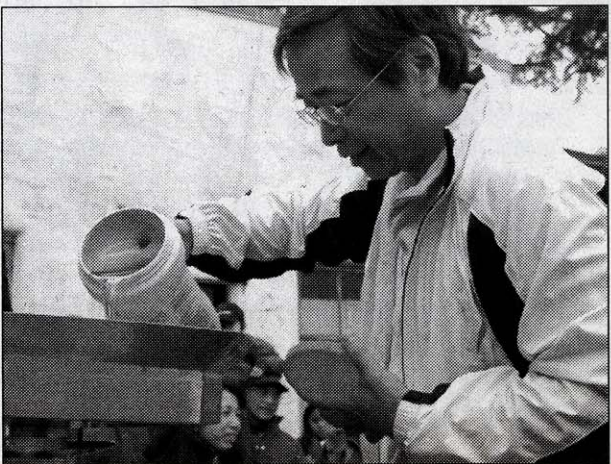
温暖化をはじめとした地球環境問題が刻々と深刻化する中、二酸化炭素排出の原因となる化石燃料を一切使用しないバイオディーゼル自動車で世界一周を目指す「バイオディーゼル・アドベンチャー」が16日、米国横断ツアーをシアトルで始動した。

揚げ物や天ぷらに使った植物油から精製されるバイオディーゼル燃料は、石油に代わるエネルギーとして注目されている。この燃料を小型プラントで精製し、あらゆる環境下でも走行可能にし

たのが、今回の披露された四輪駆動車だ。

フォトジャーナリスト兼フリードライバーの山田周生さんを代表にする当プロジェクトは、バイオディーゼル燃料の可能性を探りつつ、世界各地で廃食油を回収しながら旅を続け、環境問題の情報交換を図ることを目的とする。

市内マドロナ地区で行われた出発式には、環境保護に関心を持つ人々が駆けつけ、難波充典在シアトル総領事は「このような画期的なテクノロジーがさらに発展して



当プロジェクトを「素晴らしい発想」と話すエベレット在住の小林祐二さんは、この日最初に持ち寄った廃食油をエンジンに注いだ。

環境問題に対する関心を高めてほしい」と激励した。

「科学者でもエンジニアでもない」と自らを紹介した山田さんは、「だ

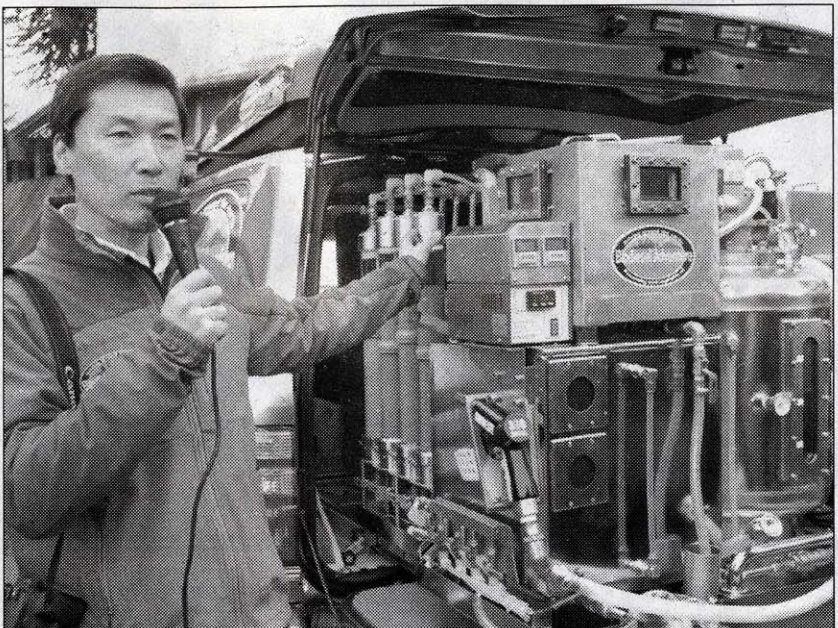
からこそんでもないことを夢見てしまったのかもしれない。この車を日本で作って、シアトルにいるつてことが、信じられない感じです」。

山田さんはまた、「環境問題だとか、エネルギーを解決するという1つの答えよりは、1つの方法として試してみようと思っています」と意思を表し、「旅は油がなければ前に進めない」と協力を呼びかけた。

これまで日本国外で約250キロを走行したプロジェクトはこの後、ロサンゼルスに南下し東海岸を目指す。アフリカ、欧州、アジアなどを回る世界ツアーの日程など詳細は www.biodieselandventure.com まで。

(記事・写真)

稲葉 八重子



バイオディーゼル自動車エンジンの仕組みを解説する山田周生さん。

「答えではなく1つの方法」